

日本工芸会陶芸部会 50周年記念展

# 未来へつなぐ陶芸 伝統工芸のチカラ展

Ceramics of the Past and of the Future: The Timelessness of Traditional Japanese Craft Arts



2022 7/2 Sat. — 8/28 Sun.

休館日：7月11日(月)、7月19日(火)、7月25日(月)、8月8日(月)、8月15日(月)、8月22日(月) 開館時間：9:00-17:00(入場は16:30まで)  
観覧料：一般 1,500(1,300) 円、学生 1,300(1,100) 円、70歳以上の方 1,200(1,000) 円 [開催中の普通展示もご覧いただけます。]

\*( )は前売りおよび20名以上の団体料金。\*18歳以下の方および高等学校、中等教育学校、特別支援学校の生徒は無料。  
\*身体障害者手帳、療育手帳、戦傷病者手帳、精神障害者保健福祉手帳の提示者とその介護者(1名)は無料。  
\*前売券は、ローソンチケット(Lコード 63127)、セブンチケットにてお求めになれます。\*割引券は県内各プレイガイドおよび道の駅、旅館等観光施設に設置しています。  
主催：未来へつなぐ陶芸展実行委員会(山口県立萩美術館・浦上記念館、朝日新聞社、yab山口朝日放送)、公益社団法人日本工芸会、NHKエンタープライズ中国  
後援：山口県教育委員会、萩市、萩市教育委員会 特別協力：エフエム山口



山口県立萩美術館・浦上記念館  
HAGI URAGAMI MUSEUM

〒758-0074 山口県萩市平安古町 586-1 TEL.0838-24-2400 URL <https://www.hum.pref.yamaguchi.lg.jp/>

\*新型コロナウイルス感染拡大防止のため、臨時休館やイベントを中止・変更する場合がございます。詳しくは当館ホームページをご確認ください。



岡田泰《淡青釉鉢》2019年 個人蔵

我が国が誇る工芸技術「陶芸」は、時代とともに技法や表現が多様化し、現代まで著しく進化を遂げてきました。とりわけ昭和戦後期以降には、陶芸家の創作活動が活発化し、意欲的な作品が次々と発表されています。1950年、陶芸をはじめ、さまざまな分野の工芸技術の保存と活用を目的に、文化財保護法が施行され、その5年後の文化財保護法改定を機に、日本工芸会が発足しました。日本工芸会は重要無形文化財保持者(いわゆる人間国宝)を中心に、各分野の伝統工芸作家、技術者等で組織され、「日本伝統工芸展」を中心に作品を発表。そして1973年には、同会陶芸部所属の作家による「第1回新作陶芸展(陶芸部会展)」が開催され、現在に至っています。

本展は日本工芸会陶芸部会50周年を記念した展覧会であり、同会で活躍した作家の秀作とともに、その活動の歴史を振り返るものです。歴代の人間国宝作品をはじめ、窯業地ならではの素材と伝統を受け継いだ作家らによる作品、茶の湯のうつわなど、伝統工芸の技と美を紹介いたします。さらに未来を担う若手作家らの作品も見どころのひとつといえるでしょう。現代陶芸の今に焦点を当てた本展では、陶芸部会所属作家を中心に、さらにそれ以外の陶芸家の作品を含め、137名の作家による名品139点を展覧いたします。



## イベントのご案内

### (1) 記念講演会①

「日本の伝統陶芸の歴史的展開と未来への展望」

※要観覧券、要事前申込(先着40名)

日時: 7月2日(土)、13:30~15:00

講師: 唐澤昌宏氏(国立工芸館館長、本展監修者)

会場: 本館講座室(40席)

### (2) 記念講演会②「陶芸で私が行ってきたこと」

※要観覧券、要事前申込(先着40名)

日時: 7月30日(土)、13:30~15:00

講師: 前田昭博氏(陶芸家、重要無形文化財「白磁」の保持者)

会場: 本館講座室(40席)

### (3) 特別対談「非対称性へのまなざし」

※要観覧券、要事前申込(先着40名)

日時: 8月6日(土)、13:30~15:00

講師: 中野信子氏(脳科学者)×唐澤昌宏氏(国立工芸館館長、本展監修者)

会場: 本館講座室(40席)

### (4) アーティスト・トーク(出品作家によるトーク)

※要観覧券、要事前申込(各日・先着20名)

7月 3日(日)・大和保男氏

7月10日(日)・波多野善蔵氏

7月17日(日)・岡田裕氏

7月24日(日)・十三代三輪休雪氏

7月31日(日)・十五代坂倉新兵衛氏

8月 7日(日)・新庄貞嗣氏

8月14日(日)・岡田泰氏

8月21日(日)・渋谷英一氏

いずれも11:00~(30分~1時間程度)

会場: 本館2階展示室

お申込みは電話またはWEBで(受付開始日時: 6月11日(土) 9:00)

《電話》0838-24-2400にて、①~④をお知らせください。

①参加希望日 ②参加希望者全員の氏名 ③年齢 ④代表者の日中のご連絡先

《WEB》当館ホームページをご覧ください。

◆イベントのリピート参加にはメンバーズクラブのご入会をおすすめします。詳しくは当館ホームページで案内しております。(入会受付は7月31日まで)



\*新型コロナウイルス感染拡大防止のため、臨時休館やイベントを中止・変更する場合がございます。詳しくは当館ホームページをご確認ください。

1 渋谷英一《黒彩器-相-》

2019年 個人蔵

2 大和保男《炎文四方陶笥》

1988年 山口県立萩美術館・浦上記念館蔵

3 十五代 坂倉新兵衛《萩灰被四方平皿》

2013年 個人蔵

4 岡田裕《炎彩花器》

2010年 山口県立萩美術館・浦上記念館蔵

5 波多野善蔵《萩茶盤》

2015年 個人蔵

6 十三代 三輪休雪《エル キャピタン》

2021年 個人蔵

7 新庄貞嗣《萩茶碗》

2019年 個人蔵

# 未来へつなぐ陶芸 伝統工芸のチカラ展

Ceramics of the Past and of the Future: The Timelessness of Traditional Japanese Craft Arts

## 交通のご案内

\*運行の状況につきましては、各交通会社にお問い合わせください。

### 【新山口駅から】

□ 直行バス「スーパーはぎ号」(約60分)で

萩・明倫センター下車、徒歩約5分

□ 防長バス(約95分)で萩バスセンター下車、徒歩約12分

### 【山口宇部空港から】

#### 【萩・石見空港から】

□ 萩近鉄タクシー(乗合タクシー) 約70~80分

(利用前日までに要予約)

### 【JR山陰本線】

□ JR萩駅から萩循環まあるバス(西回り) 約30分

□ JR東萩駅から萩循環まあるバス(東回り) 約30分

□ JR玉江駅から徒歩約20分

### 【自動車】

□ 「中国自動車道」美祿東JCT経由、

「小郡萩道路」絵堂ICから約20分

□ 「山陰自動車道」三見ICから約10分、国道191号沿い



山口県立萩美術館・浦上記念館  
HAGI URAGAMI MUSEUM

〒758-0074 山口県萩市平安古町586-1 TEL.0838-24-2400

URL <https://www.hum.pref.yamaguchi.lg.jp/>